2024年5月

承認番号	
研究課題名	健診におけるMASLD拾い上げ～FIB-4 indexと奈良宣言の組み合わせ～
研究の意義 ・ 目的	脂肪肝から予後不良な肝線維化進展例を拾い上げる指標として、FIB-4 index≧1.3、奈良宣言（ALT＞30 U/L）が挙げられている。本研究では一般健診受診者における MASLD（代謝異常関連脂肪肝）の割合を、FIB4 index、奈良宣言、及び両者の組み合わせで検討し、より効率的にMASLD患者さんを拾い上げる方法を探索することを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～　2027年3月
研究協力を お願いしたい方	2014年4月～2018年3月に当院健診センター人間ドックを受診された 18歳以上の全ての方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	受診の過程で得られた下記の情報を本研究に使用させてください。 01. 年齢、性別、身長、体重、BMI、腹囲、血圧、脈拍 02. 血液一般検査（WBC, RBC, Hb, Ht, PLT） 03. 生化学検査（AST, ALT, BUN, CRE, UA, eGFR, ALP, γGTP, LAP, T-Bil, D-Bil） 04. 脂質代謝関連（TC, TG, HDL-C, LDL-C, non HDL-C） 05. 糖代謝関連（FBS, HbA1C） 06. 蛋白分画　(TP, Alb) 07. 腹部超音波検査施行有無、脂肪肝の有無 08. HBs抗原、HBc抗体、HCV抗体、問診データ（生活習慣病の有無、飲酒量、喫煙歴ならびにBrinkman index、運動頻度、睡眠時間、食事回数、夜食の有無、服薬歴、心血管イベントの有無） 09. 肝線維化進展度予測式［FIB-4 index, NAFLD fibrosis score, APRI, APP(Albumin Platalet Product), Fibro-Scope］
試料・情報の他機関への提供	本研究は旭川医科大学内科学講座：消化器内科学分野との共同研究であり、特定の個人を識別できない形に匿名化したデータを用いて解析を行います。 JDDW2024（第28回日本肝臓学会大会）にて発表予定です。
この研究を行っている 共同研究機関	＜分担機関＞　＜研究責任者＞ 01　旭川医科大学　消化器内科学分野　澤田　康司 02　旭川厚生病院　健康管理科　大村　卓味
試料・情報を管理する責任者	旭川厚生病院　健康管理科　医師：大村　卓味
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者が倫理委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。 また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	JA北海道厚生連　旭川厚生病院　健康管理科　（担当者氏名）大村　卓味 電話番号：(0166) 33-7171